

<カレンダーベース市中発行額(令和2年度)>

(単位:兆円)

区分	当初		1次補正後		2次補正後・3次補正後			
	(1回あたり)	(年間発行額 : a)	(1回あたり)	(年間発行額 : b)	(1回あたり)	(年間発行額 : c)	(c)-(a)	(c)-(b)
40年債	0.5 × 6 回	3.0	0.5 × 6 回	3.0	0.5 × 6 回	3.0	—	—
30年債	0.7 × 12 回	8.4	0.7 × 3 回 0.8 × 9 回	9.3	0.7 × 3 回 0.9 × 9 回	10.2	1.8	0.9
20年債	0.9 × 12 回	10.8	0.9 × 3 回 1.0 × 9 回	11.7	0.9 × 3 回 1.2 × 9 回	13.5	2.7	1.8
10年債	2.1 × 12 回	25.2	2.1 × 3 回 2.3 × 9 回	27.0	2.1 × 3 回 2.6 × 9 回	29.7	4.5	2.7
5年債	1.9 × 12 回	22.8	1.9 × 3 回 2.1 × 9 回	24.6	1.9 × 3 回 2.5 × 9 回	28.2	5.4	3.6
2年債	2.0 × 12 回	24.0	2.0 × 3 回 2.4 × 9 回	27.6	2.0 × 3 回 3.0 × 9 回	33.0	9.0	5.4
割引短期国債		21.6		37.0		82.5	60.9	45.5
10年物価連動債	0.4 × 4 回	1.6	0.3 × 4 回	1.2	0.2 × 4 回	0.8	▲0.8	▲0.4
流動性供給入札		11.4		11.4		11.4	—	—
計		128.8		152.8		212.3	83.5	59.5

(表1) 割引短期国債の年限別発行予定額(令和2年度)

年限	当初	1次補正後	2次補正後・3次補正後			
	(a)		(b)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
1年	1.8 × 12 回 21.6	1.8 × 3 回	1.8 × 3 回	36.9	15.3	9.9
		2.4 × 9 回	3.5 × 9 回			
6カ月	—	10.0	45.6	45.6	35.6	

(表2) 流動性供給入札のゾーン別発行予定額(令和2年度)

区分	当初	1次補正後	2次補正後・3次補正後		
	(a)		(b)	(c)	(c)-(a)
15.5年超 39年未満	3.0	3.0	3.0	—	—
5年超 15.5年以下	6.0	6.0	6.0	—	—
1年超 5年以下	2.4	2.4	2.4	—	—

(注1) 市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や発行状況に応じて、年度後半の発行額を変更する可能性がある。

(注2) 40年債については、5月・7月・9月・11月・1月・3月の発行を予定している。

(注3) 割引短期国債は、政府短期証券と合わせて国庫短期証券として発行しており、表1の年限区分・発行額で発行することを想定しつつ、市場環境や投資ニーズに応じて、柔軟に年限区分・発行回数・発行額を調整。

(注4) 10年物価連動債については、5月・8月・11月・2月の発行を予定し、市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や投資ニーズに応じて、柔軟に発行額を調整。

(注5) 流動性供給入札については、表2のゾーン区分・発行額で行うことを想定しつつ、市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や投資ニーズに応じて柔軟に調整。

(注6) 利付債の表面利率の下限の引下げ(0.1%→0.005%)については、令和3年4月を目途に実施予定。